

平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体一覧

	団 体 名	代 表 者 名	事 業 名	補助対象経費	補助金申請額
1	中村震太郎顕彰会	会長 石田 元治	「殉国の士 中村震太郎少佐」 の業績発掘と普及事業	313,000	230,000
2	義民与茂七顕彰会	会長 武田 良治	義民大竹与茂七没後300年祭	338,000	270,000

# 平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請概要

団体名等	事業名、事業内容及びスケジュール	補助対象経費及び内容等	地域活性化の波及性
<p>【団体名】 中村震太郎顕彰会</p> <p>【構成員数】 40人</p>	<p>【事業名】 「殉国の士 中村震太郎少佐」の業績発掘と普及事業</p> <p>【目的】 中条出身の陸軍歩兵少佐中村震太郎の業績発掘と普及活動を行うため、遺品の収集、整理、常設展示場の整備、パンフレット・冊子を作成し講演会活動を行うことを目的とする。 中村震太郎没後80余年が経過し、遺品、業績等については散存、風化していることから、これらの整理、発掘等を行い、苦学勤勉し陸軍において多くの功績を挙げた郷土の偉人「中村震太郎」を後世に伝承するとともに、地域内外に広くPRし、もって、地域のさらなる活性化につなげたい。</p> <p>【事業内容】 ・常設展示場の整備検討、遺品等整理 ・地元住民対象の講演会実施、展示場の整備・遺品の展示 ・パンフレット(3つ折両面)500部、冊子100部作成 配布先:学校、展示場、市内公共施設等 業績等の発掘と普及活動のため作成。地元及び中之島地域内外に配布 ・「中村震太郎遺品展・講演会」開催</p> <p>【事業実施までのスケジュール】 4月 常設展示場の整備検討と遺品等の整理 5月 展示場の整備・遺品の展示 地元住民対象の講演会実施 9月 パンフレット、冊子作成・配布 10月 「中村震太郎遺品展、講演会」の開催</p>	<p>【補助対象経費】 313,000円</p> <p>【内容】 ・展示場展示関係資材費:10,000円 ・冊子、パンフレット印刷費:125,000円 (冊子100部、パンフレット500部作成) ・資料表装費、遺品修復費:168,000円 ・消耗品費:10,000円</p>	<p>大竹貫一、入澤家一族、高橋竹之介等は、中之島の「偉人」として認知度は高まっているが、中村震太郎の認知度は低い。 中村震太郎が残した功績も素晴らしいものであり、また、人間像も現代社会に生きる我々の手本となるものである。 当事業を展開しながら、中村震太郎という人物を広く知ってもらうことで、地域活性化、地域観光の発展につながるきっかけとなり、豊かな人間性を育むことも期待できる。</p>

# 平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請概要

団体名等	事業名、事業内容及びスケジュール	補助対象経費及び内容等	地域活性化の波及性
<p>【団体名】 義民与茂七顕彰会</p> <p>【構成員数】 107人</p>	<p>【事業名】 義民大竹与茂七没後300年祭</p> <p>【目的】 大竹与茂七の遺徳を偲び、その偉業を讃え、偉大な人格者であったことをより一層地域住民や子どもたちに知ってもらい、そして守り伝えていくために、没後300年祭の節目を契機に、記念講演の開催やパンフレットなど資料を作成し、さらなるPRと伝承につなげていきたい。</p> <p>【事業内容】 ・記念講演 大竹与茂七の生涯と遺徳、中之島地域の川の氾濫との闘いの歴史をテーマに記念講演を行う(7月22日)。 ・伝承の夕べ これからの地域を支えていく子供たちが自分たちの街が生んだ偉人大竹与茂七の魅力を語り、自信を持って受け継いでいくように学習会を開く(パンフレット作成)。 ・記念誌の発刊 記念講演や伝承の夕べに使用したり、さらに今後小学校の図書室に置いてもらい、子供たちがいつでも手に取って大竹与茂七の遺徳に触れられるようにする。</p> <p>【事業実施までのスケジュール】 5月 実行委員会会議(1回目) 6月 実行委員会会議(2回目) 7月 実行委員会会議(3回目) 記念誌、パンフレットの完成 7月21日 伝承の夕べ 7月22日 記念講演 9月以降各小学校の総合学習の時間をいただき、3、4年生に大竹与茂七の偉業について語り、中之島全体に知ってもらうように活動する。 1ヶ月に1回程町内の子供たちに大竹与茂七の事を話す機会を設ける予定。</p>	<p>【補助事業対象経費】 338,000</p> <p>【内容】 ・記念誌製本(500部作成):200,000円 ・パンフレット制作:24,000円 (400部作成) ・報償費(記念講演講師):20,000円 ・交通費:5,000円 ・ポスター制作費:30,000円 ・消耗品費:30,000円 ・事務通信費:29,000円</p>	<p>300年祭を契機に、今後地域の人たちと子供たちが中心となって義民大竹与茂七がこの中之島の人たちを救うためにどのようなことをしたのかを顕彰することによって、世代を超えた交流の場として地域の活性化が生まれるのではないかと思います。また、地域の方々が大竹与茂七という人物をあらためて振り返り、その功績を再認識することで、地域内外へのさらなるPRにつながるきっかけづくりも期待できると思います。</p>